鳥取県産の杉・ヒノキを使ったオリジナル製品を 小ロットから生産するサービスを開始。

一木のマスクケース・木のストローなどを店舗オリジナル商品・企業オリジナルノベルティに一



クリエイティブ制作や「木の紙」の商品開発・販売を展開する「株式会社クレコ・ラボ 智頭研究 所」(所在地:鳥取県智頭町、代表:興津世禄)は、鳥取県智頭町の地元材「智頭ヒノキ」「智頭スギ」を用いたオリジナル商品の受注生産を開始しました。

クレコ・ラボは、水を育む森を守る活動を促進するため、国産木材を独自加工した「木の紙」を活用し、プロダクトへと繋げる活動を展開しています。

森を守るための具体的なアクションの1つとして、国産材を活用したプロダクトを開発し、プロダクトを通して多くの方に木に触れる機会をつくることにより、適切な森林管理が促進されるよう、森と水を守る橋渡しとして活動を進めています。

その一環として、このたび鳥取県智頭町の地元の国産材を活用した商品「智頭ヒノキ・智頭スギ材ECOシリーズ」第1弾として、オリジナルのロゴプリントや名入れをしたマスクケース・ストローパッケージなど、智頭の木材を用いたオリジナル(名入れ、ロゴ入れ)商品・ノベルティの製造を小ロット(5個~)からの受注生産対応を開始いたしました。

観光お土産用に、イベント、年末ご挨拶用ノベルティとしてご活用いただけます。

なお鳥取県内の企業・個人の方限定となりますが、年内にご発注いただいた分は通常発生する初回デザイン調整費用(税抜き3,000円)が無料となります。この機会にぜひ一度お試しください。

本品は、Sustainable materials(持続可能な素材)として、国連が掲げる「持続可能な開発目標 (SDGs)」にも沿った環境に優しいアイテムです。

■オリジナル商品実例

【石谷家住宅】



・ヒノキのマスクケース(ノーマルタイプ):ケース本体右上にオリジナルイラストを印刷・木のストロー:パッケージ右上にオリジナルイラストを印刷



〈石谷家住宅〉

〒689-1402 鳥取県八頭郡智頭町智頭396番地

TEL:0858-75-3500

https://www.ifs.or.jp/

【みたき園】



・ヒノキのマスクケース(ノーマルタイプ):ケース本体中央にオリジナルイラストを印刷

・木のストロー:パッケージ左上にオリジナルイラストを印刷



〈みたき園〉 〒689-1412 鳥取県八頭郡智頭町芦津707 TEL:0858-75-3665 https://ashidumitakien.jp/

【和佳(のどか)】



- ・ヒノキのマスクケース(ノーマルタイプ):ケース本体中央にオリジナルイラストを印刷
- ・ヒノキのマスクケース(立体マスク用):ケース本体中央にオリジナルイラストを印刷



〈和佳(のどか)〉 〒689-1401 鳥取県八頭郡智頭町市瀬1947 TEL:0858-75-75-3017 https://cafe-nodoka.com/

【智頭町観光案内所】(智頭のスタンダード商品)



・ヒノキのマスクケース・木のストロー

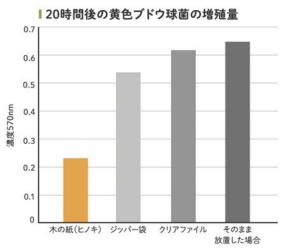


〈智頭町観光協会 暮らし屋〉 〒689-1402 鳥取県八頭郡智頭町智頭2067-1 TEL:0858-76-1111 https://chizukankou-kurashiya.jp/

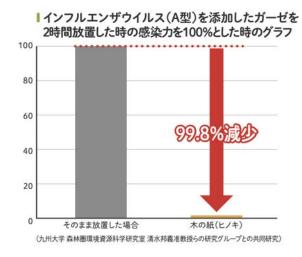
■鳥取県智頭産ヒノキのマスクケースについて

〈商品特徴〉

- ・智頭ヒノキ材を使用
- 天然木ならではの一つ一つ異なる風合いと、爽やかなひのきの香り
- ・最大重量約12g。デザイン性が高く、コンパクト、軽量で優れた携帯性
- -3タイプのサイズをラインナップ(ノーマルタイプ/スリム/立体マスク用)
- ・触れている物質の細菌の増殖を抑制する作用※1がある
- ・触れているインフルエンザウイルスの感染力を低下させる作用※2がある



黄色ブドウ球菌を添加したガーゼを木の紙(ヒノキ)に挟んだもの、ジッパー袋で上下から挟んだもの、ウリアファイルで挟んだもの、何も入れずそのまま放置したもの計4つのパターンで、3°C、20時間静置培養した。(九州大学森林圏環境選科学研究室清水邦義准教授らの研究グルーブとの共同研究)



〈九州大学 森林圏環境資源科学研究室 清水邦義准教授 らの研究グループとの共同研究〉

〈商品詳細〉

ノーマルタイプ	スリムタイプ	立体マスク用
We become and or materials		(a) Invariant more rate
ベーシックなプリーツタイプマスクの収納用。 1個 ¥1,078(税込)	マスクを半分に畳んでコンパ クトに収納。 1個 ¥792(税込)	立体タイプのマスクの収納 用。 1個 ¥968(税込)

■智頭杉の木のストローについて

0.15mm程度に極薄スライスした木のシートを独自の加工で巻き上げて仕上げたストロー。

「木を使う」ことで、森林のサイクルを経済的にまわし、水と森林問題に関して気づきを与え、「水」と深い接点を持つ「木のストロー」が橋渡し役となって、日本の水と森について関心を持ってもらうきっかけ作りを目指しています。

〈商品特徴〉

- •智頭産杉材を使用
- ・天然の木の優しい質感、木の香りを楽しめる
- ・洗ってしっかり乾燥させることで、繰り返し(4-5回推奨)使用可能
- ・パッケージ入りで贈答用にも最適

〈商品詳細〉

マグカップや大きめの湯呑み、酒器、グラスなど、日常的に使う様々なサイズの器に合わせた3種類の長さをラインナップ。

温かい飲み物と合わせると、より豊かな香りが立ちのぼります。



- ・13.5cm(3本入り)¥550(税込)
- •16cm(8本入り)¥1,100(税込)
- ・20cm(10本入り)¥1,650(税込)

[口径:約4mm]

■クレコ・ラボについて

クレコ・ラボは、これまで水を育む森を守る活動を促進するため、以下の商品を手がけてきました。







木のストロー/ヒノキのマスク/木の名刺

■木の紙について

クレコ・ラボのオリジナル商品「木の紙」は、木材を紙のように扱えるよう独自加工した、新しい素材です。国産のスギ、ヒノキなどの間伐材を0.15mm 程度の極薄にスライスし、独自の加工で仕上げています。本物の木を使っているからこそ、1枚1枚異なる木目や色味、ほのかな香り、木の質感をお楽しみいただけます。木材は、ヒノキ・赤松・黒松・琉球松・杉・桜など様々です。

■Sustainable materials(持続可能な素材)を使ったプロダクト

「持続可能性」をキーワードに、アメリカやヨーロッパでは、海洋汚染問題によるプラスチックストロー廃止の動きが活発化し、世界各国でプラスチック製ストローをはじめとする、使い捨てプラスチックに対する廃止の方向性が打ち出されています。

クレコ・ラボでは、国産木材を太陽エネルギーを使って永続的に使える資源「Sustainable materials(持続可能な素材)」として、国産材を利用した木製商品の企画・製造に取り組んでいます。

■水と森を守る橋渡しに

日本は、国土の3分の2が森林に覆われており、そのうちの4割が人工林にあたります。人工林は 人の手を加えていかなければ森林のバランスが崩れ、災害の要因に繋がります。

クレコ・ラボは、これまで国産材を生活に取り入れたプロダクトを通して、一人でも多くの方に木に触れる機会をつくり、「国産材を使う(買う)」ことが人工林の保全活動となり、自然を守ることに繋がることを伝える取り組みを行ってきました。

日本は「資源がない国」というイメージがありますが、世界でも有数の森林保有国でもあります。 100 年先も続く豊かな森林を創造するべく、これからも木を扱う楽しみや木材活用を通して森林 資源の保持に繋がるこの活動を続けて参ります。

【関連サイト】

木のストローで森林と人とを繋いでいく(動画): https://youtu.be/qSjDpw1SVGU 森林体験バーチャルツアー(360度コンテンツ): https://s.smapano.com/mori 木のストロープロジェクトについて(漫画): https://forest.creco-lab.co.jp/comic 水と森と木のストロー公式サイト: https://forest.creco-lab.co.jp

■企業情報

株式会社クレコ・ラボ 智頭研究所

住所: 〒1689-1415 鳥取県八頭郡智頭町郷原283 旧山形小学校 2階 3年教室

Mail:chizu@creco-lab.co.jp

代表取締役:興津世禄

URL: https://note.com/chizu_creco

https://smapano2.com/chizu/yamagata/creco-lab/

事業内容

クリエイティブ制作事業、商品企画・開発・コンサルティング事業、商品製造・販売事業

株式会社クレコ・ラボ」はSDGs の掲げる17 の目標のうち、以下の取り組みを行なっています。 12.つくる責任とつかう責任、15.陸の豊かさも守ろう





